

## “吉田メソッド”で復習をやり切った時に、 皆さんは驚くほど知識が定着して得点力が伸びている!

### 私の中上級講義の特色

「社労士試験に合格するには、暗記や力技が必要である」この定説を私は真っ向から否定します。

私の講義では「**何故そのような規定になったのか**」という理由付けを、**具体的な事例や過去問の論点、歴史的な経緯などを用いながら説明**していきます。だからこそ、私の講義では多くの受講生

の方から「なるほど!そうだったんですね。今まで暗記しないといけないと思っていましたが、初めて理解できました!」との感想を頂きます。

そして、講義の後の**復習では「徹底的に繰り返す」**ことにこだわります。次の講義までに、テキストを読まずにその日の講義の範囲の**一問一答過去問演習**を開き、レポート用紙などで解答解説を隠し、

各問に○なら○、×なら何故誤りなのか論点を自分でわかる程度に書いていきます。これを誤りの論点を書くのが面倒になる位にスラスラ出てくるまで繰り返します。目安は最低5回です。どうしても理解できないところは最初のうちはテキストや解答解説を見て構いません。

テキストの読み込みはすべてのインプット講義が終

## 吉田達生講師が担当する、オプション講座 NEW 吉田の過去問×肢 ピックアップ講座 [全16回 / 別売]

受験生時代に一気に10点以上アップした《秘術》を皆さんに伝授します!

### 労働編 (全9回)



### 社会保険編 (全7回)



### こんな方にオススメ

- 過去問を使った復習の仕方に不安がある方
- 択一式で楽々と基準点をクリアしたい方
- 各科目の基本事項に不安がある方

### 私の、過去問×肢ピックアップ講座は、こんな講座です!

※使用教材：2025年一問一答過去問BOOK

#### 〈予習〉

予習は原則不要としますが、時間に余裕のある方は「一問一答過去問BOOK」を講義前までに解いてください。解き方は、メモ用紙などで解答解説の部分を見ながら、○か×の正誤判断しつつ、その理由付けをメモ程度で構わないので、なるべく書いてください。わからなかったところは解説を読み、「Perfect社労士テキスト」に立ち返るなどしましょう。

#### 〈講義〉

択一式の対策は、5肢択一の問題でただひたすら正解できるようになるまで解いているようでは、思うように知識は定着せず、**時間の無駄です**。この講座では「一問一答過去問BOOK」のなかから「×肢」だけを毎回厳選し、なぜ「×」なのか、どこが「×」なのかを理解し、知識を定着できるように解説講義をします。  
※講義中に解いていただくようなことはしません。

#### なぜ「×肢」が重要なのか。

「社労士試験合格のためには過去問演習が大事」これは皆さん異論はないと思います。でも、過去に出題された問題がそのまま数年後に出るという事はほぼありません。**過去に出題された問題の論点はそのままだに形を変えて出題される**のです。だからこそ正誤判断の「論点」を意識することが大事になるのです。**「×肢」はこの「論点」を意識するために最高の教材**となるのです。

わった後で行います。講義の際に蛍光ペンでマークをし、赤ペンで書き込んだ重要ポイントを中心に目を通していく感覚で何度も読んでいきます。これらの学習はわざわざ机に向かわなくても通勤時間や昼休みなどの「スキマ時間」を活用して行うことができます。**これらの復習をやり切った時に、皆さんは驚くほど知識が定着して得点力が伸びていることは間違いありません。**



Web・音声DL・スマホ収録担当  
生講義担当  
吉田 達生  
「よしだたつお」TEC専任講師



### 吉田講師からのメッセージ

「毎日頑張って復習したのに」「何度も過去問演習を繰り返したのに」本試験であと一歩のところまで涙を飲んだ多くの受験生の皆さんが口にする言葉です。でも、その学習が本当に効果的な方法だったと胸を張れますか?

今まで講師として数多くの受験生の方々の学習方法を見てまいりましたが、何度受験しても不合格になる方に共通するのは、「そんな無駄な学習をやっているのはいつまでたっても合格できないよ」と断言できる学習方法を、変えることなくいつまでもやり続けていることです。

例えば過去問演習を繰り返しやるにしても、正解するまでただひたすら繰り返す方が多いのですが、大事なものは正解できるようになることではなく、誤りとなる論点がある場ですぐに口に出して説明できるようにすることです。そうでないと合格のための知識は定着しません。

私が渋谷駅前本校、中上級講座 吉田クラスで皆さんに実践していただく**「究極の復習法 吉田メソッド」**とは、**私自身が合格のために実践した方法**です。私は受験2年目で合格しましたが、受験1年目と学習方法を大きく変えただけで択一式は12点アップして70点満点中52点、選択式は15点アップして40点満点中35点をたたき出し完勝することができました。しかも、自宅で学習する事なく、学習時間を受験1年目より大幅に減らしての結果です。**「無駄なことをしない」「スキマ時間を上手に使う」忙しい社会人でも最小限の時間で最大限の効果を生み出す「吉田メソッド」を実践して、今度こそ合格を勝ち取りましょう!**